

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 03 防災対策の推進
主管課： 交通防災課
関係課： 財政課、社会福祉課、介護福祉課、都市計画課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 防災への取組によって、市民が安心して生活できるまちをつくれます。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

災害面で安全に暮らせると思う市民の割合（％） 交通防災課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
80.50	78.10	80.50	81.00	81.50	82.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値と同じ値ですが、前年度比では2.4ポイント増加しています。 （原因）アンケートでは、8割以上が災害面で安全に暮らせる地域だと考えており、発災対応型防災訓練を継続して実施してきた結果、市や消防、災害対策協力会、自主防災組織等の防災対策への取組が浸透してきたものと考えます。しかし、アンケート結果では、「そうは思わない」という回答は17.6%ありますので、引き続き防災対策の充実に取り組みます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	63,223	55,189	66,517	152,433	57,408
人件費	11,380	20,461	14,462	0	0
トータルコスト	74,603	75,650	80,979	152,433	57,408

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 市民の防災意識の向上	向上	向上	向上			890	1,170	2,588	4,932	4,932
02 災害時における行政による支援体制の強化	横ば	横ば				31,588	14,783	27,653	23,281	16,307
03 避難行動要支援者の避難支援	低下	横ば	低下			769	486	1,029	915	915
99 施策の総合推進						29,976	38,750	35,247	123,305	35,254

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

自主防災組織の結成を促進するとともに、既存組織の活性化を図り、防災訓練を通して、防災体制の強化に努めます。 市民に対して自助・共助の意識向上を図り、避難行動要支援者を日頃から把握し、地域における支援体制を整備します。 市民生活総合支援アプリMorinfo等を活用し、災害発生時に市民に災害情報を発信・共有していきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の実施内容、成果及び次年度以降に向けた課題

市民の防災対策への意識の高揚を図るため、区長等を対象に防災講演会を開催し、自主防災組織の重要性を周知するとともに、発災型防災訓練を実施し減災対策に取り組みました。 さらに「防災ハザードマップ」を作成し、全戸に配布しました。 また、防災備蓄品の計画的な更新を行い、地域防災計画地震災害編で不足する避難者のトイレを整備しました。 今後、避難行動要支援者の取組として、区長へ避難行動要支援者登録制度の周知を進める必要性があると考えます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方針（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

市民の防災対策への意識の高揚を図るため、防災講演会を開催するとともに、発災対応型防災訓練を行い、減災対策に取り組みます。 また、多様化する生活必需品に対応する備蓄品の充実に努めます。さらに、自主防災組織の新規結成と組織の活性化のための説明・相談を随時行うとともに、立上げへの補助を行い、地域での共助の基となる自主防災組織の組織率向上を目指します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減